

全国「道の駅」シンポジウム in 幸田

幸田宣言

私たち、全国の「道の駅」関係者は、本日ここ愛知県幸田町において全国「道の駅」シンポジウム in 幸田を開催しました。

平成24年岩手県遠野市で第1回シンポジウムを開催、昨年は新型コロナウイルスの影響により開催延期となりましたが、毎年各ブロック持ち回りで開催し本大会で全てのブロックを回りきる記念すべき大会です。

道の駅は、平成5年4月の全国103駅の第1回登録から、今年6月の第55回登録で新たに6駅が追加され、計1,193駅と10倍以上に増加しています。

新たに加わった道の駅とともに第3ステージ「地方創生・観光を加速する拠点」として自ら成長しスピード感をもって取り組む必要があります。

シンポジウムでは、第3ステージに向けて、各「道の駅」における自由な発想と地域の熱意の下で、世界ブランドの「道の駅」となるためのインバウンド観光への対応強化、広域的な防災機能を担うための新「防災道の駅」の導入や、あらゆる世代が「道の駅」を舞台に活躍するための環境の提供、これら3つの柱に関する取り組みの重要性を認識し、新たな魅力を持つ地域づくりの契機となる道の駅の在り方について議論を深めました。

新型コロナウイルス感染症という未曾有の災害が道の駅に及ぼした影響は計り知れません。しかし、全国の道の駅はこの未曾有の災害にも負けず、ライフライン面での道路利用者への休憩機能の提供拠点として、また地域の経済や雇用を守るとともに、食料品の供給を行う生活拠点として多大な活躍をしています。

私たち全国の「道の駅」関係者は、全国の道の駅がいち早く新型コロナウイルス感染症拡大以前の状況に戻ることに、そして今後の「ニューノーマル」に対応した進化を遂げ、新たなステージに到達するため、全国の「道の駅」と地域とが互いに手をとりあひすべての「道の駅」を地域と共に発展させていく事をここに宣言いたします。

令和3年10月21日

全国「道の駅」シンポジウムin幸田実行委員会 委員長

中部ブロック「道の駅」連絡会 会長

幸田町長 成瀬 敦